

令和7年度事業報告

令和7年度は、物価・人件費の上昇、税制や社会保障制度の見直しなど、高齢者の生活と就業に直接影響する変化が続いた一年でした。

一方で、急速に進行する人口減少・少子化・超高齢化の中、シルバー人材センターには、地域の人手不足を補いながら、高齢者の生きがいと生活の安定に資する就業機会を提供する役割が、これまで以上に期待されています。

当センターでは、「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、高年齢者の生きがいの充実と社会参加の促進を通じて地域社会の活性化を図ることを目標に掲げ、「第2次中期計画」を基本方針として、自立可能なセンター運営を目指して事業を推進してきました。

その取り組みの一つとして、就業率の向上を目的に「80歳を過ぎてもできる就業」の実現を目指し、独自事業の研究を進めました。昨年6月には「独自事業実行委員会」を立ち上げ、10月にはプレイベントとして「シルバー新鮮なんでも市」を開催することができました。このプレイベントを踏まえ、令和8年度からは本格実施を予定しており、多くの会員の皆様のご協力をお願いするものです。

令和7年度の事業実績については、請負・委任および派遣事業において新規契約の確保に努めましたが、職務班会員の退会により契約額が大幅に減少し、正味財産期末残高は前年度比 3,264,216 円の減額となりました。

会員数は、前年度より9名増加し、329名となりました。

以下に、令和7年度に実施した主な事業について報告いたします。

1 会員の状況

県シルバー人材センター連合会と連携した技能講習会の開催による会員募集や地区公民館に会員募集チラシ配布、ハローワーク魚津との連携を図りチラシの設置、チラシの新聞折り込み（2回）、市広報にチラシを折りこんで頂くスポット配布など、入会説明会（定期12回、臨時8回参加者42名）などの取り組みや新規入会会員の初年度会費の免除により新入会員は28名退会者19名となり令和7年度当初会員数320名から9名増加し329名（対前年度比102.8%）となりました。

また、就業のチャンスが少ない方、仕事の内容等で困っている事案等について個別に相談や対応等について協議しました。

それと同時に、昨年に引き続き就業機会が全くなかった会員には、年会費を免除するなどして、シルバー会員の退会抑制に努めました。

2 センター事業の実績

チラシの新聞折り込み、会員による受注拡大、市内企業を訪問するなど受注の拡大に取り組みました。

① 受託事業の実績

受注件数は、前年度比 49 件減少の 4,115 件（対前年度比 97.3%）でしたが、契約金額は前年度比 888 万円減額の 7,540 万円（対前年度 89.5%）でありました。

② シルバー派遣事業の実績

受注件数は、対前年度比 1 件増加の 83 件（対前年度比 101.2%）また、会員賃金及び手数料合計は対前年度比 559 万円減額 3,769 万円（対前年度比 87.3%）でありました。

③ 職業紹介事業の実績

受注件数は 2 件、会員賃金及び手数料合計は 122 万円でした。

<参考>

(単位:万円)

区 分		令和 7 年度	令和 6 年度	比較増減
受託事業契約金額		7, 5 4 0	8, 4 2 8	△ 8 8 8
シルバー 派遣事業	賃 金	3, 3 5 0	3, 8 3 8	△ 4 8 8
	手数料	4 1 9	4 8 1	△ 6 2
職業紹介 事業	賃 金	1 1 2	9	1 0 3
	手数料	1 0	1	9
合 計		1 1, 4 3 1	1 2, 7 5 7	△1, 3 2 6

備考：センターの経常収益には、シルバー派遣事業及び職業紹介事業の「賃金」は含まれません。

3 自主・自立の組織づくり

理事（役員）会は 6 回開催し定時総会に付議する重要議案の審議等の協議を行うとともに、事業、予算の執行状況の調査・適正な運営、会員の適正就業の推進に努めました。また、会員の声が反映されるよう業務執行に関する意思決定機関である理事会において、建設的議論が展開されるように努めました。

4 安全・適正就業の推進

「安全は全てに優先する」を合言葉に、「安全・安心なシルバー事業」の構築を図るために、理事会や会報等で事故の発生状況を報告し、会員一人ひとりの安全就業に対する自己啓発安全意識の高揚に努めました。

しかし残念なことに、10月に転落事故による会員の死亡事故が発生し、安全適正就業推進委員会では通常の間開催の他に臨時委員会を開催し、発生した事故の原因究明や安全基準について再検証を行い、今後の事故の未然防止や再発防止対策を協議しました。

また、剪定現場や草刈現場等を中心に、事故発生等を未然に防止するために、安全パトロールを2回実施しました。

さらに、県シルバー連合会が開催した安全・適正就業対策推進委員会や安全・適正就業対策推進研修会に積極的に参加して、他センターでの事故発生状況や発生要因、事故防止に向けての取り組み、対策状況の確認をすることにより、当シルバー人材センターにおける事故の未然防止、再発防止に努めました。

5 就業開拓・会員拡大の推進

会員拡大を図るため、会員による1人1会員入会運動として会員紹介カードの取り組みを行いました。(2名入会)

シルバー事業普及啓発チラシの充実を図り、新聞折り込みや会員の少ない校区において市広報に会員募集チラシの同時配布や市内の事業所等を訪問して、新規就業先等の開拓推進に努めました。

80歳を超えても就業出来る活動について考え、「独自事業実行委員会」を組織化し、「シルバー新鮮なんでも市」のイベントを開催しました。

6 事業運営の効率化

センター事務局では、事務分掌の検証・事務の効率化・組織の活性化や管理経費の見直しを行い財政基盤の安定化に努めました。

また、デジタル化に対応するためのシステムの構築や財政基盤の構築を目指し、歳入歳出の両面からも総合的に検討するように努めました。

会員への情報発信ツールとしてラインとインスタグラムを開設しました。

<基本事項の実施状況>

【会議の開催状況】

- ・理事（役員）会 7回（臨時会1回含む）
- ・会報編集委員会 4回
- ・職務班（安全就業研修会）会議 7回

【事業の普及啓発活動】

- ・当センターの会報くろべがわを年2回発行
- ・当センターのホームページを年5回更新
- ・新聞折り込みチラシ（お仕事の手伝い、会員募集） 年2回
- ・荻生・田家地区会員募集チラシ全戸配布（R7.4月号市広報）
- ・ライン及びインスタグラムの開設

【会員の増強】

- ・毎月第二火曜日の定時入会説明会(12回)、臨時(8回)の説明会の開催
説明会 20回 42名参加
- ※参考 令和6年度 24回 46名参加